

Bベテル通信

2018年1月号 (第174号)

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000
ホームページ <http://www.bethel.or.jp/>



新年のご挨拶



皆様、新年明けましておめでとうございます。2018年を皆様どの様な思いで迎えられましたでしょうか？今年の干支は「戌（いぬ）」ですが、人間と犬の関わりの歴史は古く古代エジプトの時代にはペットとして飼われていたそうです。日本でも『忠犬ハチ公』の話で有名なように、主人に忠実に従う従順な性格で人の心まで癒してくれる繋がり深い動物です。“犬”年には「真面目・勤勉で努力家」という意味があり、また犬はとても安産ということで、出産に縁起のよい干支とされているそうです。今年は、真面目に実直にかつ実りの多い年になることを願いたい新年の始まりです。

とは言いつつも、今年は医療保険と介護保険が同時改定される年に当たり、医療保険についてはマイナス改定が決定されました。2025年問題に象徴される高齢・多死社会に向けての安心社会の構築には医療・介護の面からの支えが不可欠ですが、原資となるお金の調達を無制限にという訳にもいかず、医療費の抑制という施策でバランスを取らざるを得ないのも現実です。医療法人聖愛会のような中小規模の医療施設は、国が進める医療制度改革の荒波にのまれてしまわないよう、経営基盤の安定化が年ごとに強く求められる時代になって来ています。

医療法人聖愛会は1982年4月に初代理事長の森健一先生を中心に開設されました。開設時の理念は『身体から病を取り去ることだけではなく心身共に病んでいる患者様への全人的ケアと、病院は病を癒す所であると同時に人々が死を迎える場所でもあり、臨死患者様への心身のケア』と謳われています。いま日本が直面している高齢化と多死社会に向けての医療・看護・介護の在り方を予見するような理念です。

開設から36年が過ぎても、開設時の理念は職員一人一人の心の中に刻まれ日々実践に生かされていると思っています。最近“ベテル病院は変わったね”言われぬ一貫性をもって今年も歩んでゆきたいと思っています。現理事長の森洋二先生がとても素晴らしい言葉を私たち職員へ贈ってくれたことがあります。それは『4つのM』という言葉です。

第1は、Mission ; 使命 使命とは病院の向かう方向を示す理念です。

第2は、Motivation ; やる気 理念を実現しようとする思いです。

第3は、Movement ; 活動 理念実現のための日々の実践的活動です。

第4は、Money ; お金 理念実現のための実践的活動から得た対価です。

『理念を実現しようとする思いをもって日々実践的活動を行えば、おのずとお金は後からついてくる』

戌年にちなんで、真面目に勤勉に日々コツコツと努力し、実りの多い年にしたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。





放射線治療

【放射線によってがんを治療】

放射線は、細胞が分裂してふえるときに必要な遺伝子に作用して、細胞がふえないようにしたり、細胞が新しい細胞に置き換わるときに脱落する仕組みを促すことで、がん細胞を消滅させたり、少なくしたりします。放射線治療はこのような作用を利用してがんを治療します。放射線治療に用いられる放射線の種類には、X線、 γ （ガンマ）線、電子線などがあります。

このほか、研究段階ですが陽子線や重粒子線による治療が一部の施設で行われています。放射線治療の利点は、手術によって切除することなく、がんに対して治療効果を期待できることで、臓器をそのまま残したり、臓器の働きをがんになる前と同じようにしておけることです。がんの種類によって放射線治療の効果（効きやすさ、治りやすさ）は大きく異なり、治療の場所などによって副作用の起こり方もさまざまです。病期などでわかるがんの状態、体調やこれまでの治療の内容などをもとに、放射線治療を行うかどうか、また、どのように行うかについて検討されます。

放射線治療は、がんを治すことを目的として単独で行われることもありますが、薬物療法（抗がん剤治療）や手術などのほかの治療と併用して行われることもあります。手術との併用では再発を防ぐために手術の前後に行われたり、膵臓がんなどでは手術中にがん放射線を当てることもあります（術中照射）。このほか、骨に転移したがんによる痛みを和らげたり、神経を圧迫してしびれや痛みの原因になっているがんを治療するときにも行われます。

【放射線治療の方法】

放射線治療は、体の外から放射線を当てる「外部照射」と、体の内側から、がんやその周辺に放射線を当てる「内部照射」に分けられます。外部照射と内部照射を組み合わせることもあります。

内部照射の例としては、密封された放射性同位元素を体の中に入れる密封小線源治療と、使用する放射性物質が特定の臓器に選択的に取り込まれる働きを利用してカプセルなどにして内服する方法（非密封の放射性同位元素による治療）があります。

【放射線治療の副作用】

日焼けのような変化がみられ、発赤、色素沈着、乾燥、かゆみなどが起こります。頭痛、めまい、吐き気、嘔吐、下痢などがでることがあります。粘膜が炎症をおこすために、飲み込みにくい、飲み込むときに痛む、口が乾く、声がかれるなどがみられます。放射線肺炎がおこって、せき、発熱、息切れなどの症状がでることがあります。放射線は身体に悪い！と思っている方多いと思います。が、使い方次第ではとても役に立ちます。これを機に見方が変われば幸いです。

※掲載資料（公益社団法人放射線影響研究所 日米共同研究機関HPより抜粋）

外来からのお知らせ

◎ 年末年始 休診のお知らせ

12月29日(金)～1月3日(水) 外来全科
(急な体調不良があった場合は、医師・看護師が当直しておりますので
まずは、お電話下さい。)

◎ 1月の豊田 泰孝 医師 (精神科・心療内科) 外来診療日のお知らせ

1月17日(水) 1月31日(水)

ベテルのクリスマス



12月11日(月)、チャペルでクリスマス燭火礼拝を行いました。小島牧師からクリスマスのメッセージを聴き、パイプオルガンとバイオリンの奏楽に合わせ讃美歌を歌い、クリスマスをお祝いいたしました。

また24日(日)のクリスマス讃美礼拝(夕礼拝)では、クリスマスの聖書を朗読し、バイオリンの奏楽に合わせ21名で讃美いたしました。

ベテルで過ごす皆様の上に、そしてベテルを支えてくださっている後援会の方々、ボランティアの方々の上に、クリスマスの喜びが豊かにありますように願いお祈りしております。

(チャプレン 中村信雄)



ベテル句会

移り来て
終の住処の

冬もみぢ
(清水 スマ子)

児等共に

サンタ喜ぶ

クリスマス
(平岡 恵風)

子供らや

羽根つき楽し

鄙の春
(栗林 久子)

光り飛ぶ

石鎚山の

初日かな
(松田 とよ)

大人びて

見ゆるひ孫や

更衣
(河田 和子)

迎春

あけましておめでとございませす。

昨年は大々さんの御投句、誠に

ありがとございませす。

今年も皆様方の投句をお待ちし

ております。

自分の想い、家族への想いを伝える

場になつていたら幸いです。

今年もベテル句会をよろしくお願

い致します。



投句箱は受付・各病棟・5階リハビリ室に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。
『ベテル通信』についてのご意見やご要望をお待ちしております。